



**SR** サカエ理研工業株式会社

**CSR**  
**Report**  
**2020**

Sakae Riken Kogyo Co., Ltd.  
CSR Report  
2020

# 目次

## Contents

サカエ理研のCSR行動方針	03
国内・海外ネットワーク	04
脱炭素の実現をめざして	05

## 環境

### Environment

サカエ理研の環境方針	07
環境マネジメント	09
環境負荷削減への取り組み	11
地域公害発生防止のために	14
2020年度環境実績ハイライト	16

## 社会

### Society

サカエ理研の品質方針	17
品質マネジメント	18
人権マネジメント	19
安全衛生	23
社会活動	27
サカエ理研の購買方針	28
サプライヤーとの関わり	29

## コンプライアンス

### Compliance

サカエ理研のコンプライアンス方針	31
情報セキュリティ	34
リスクマネジメント	35

#### (CSRレポート 2020 編集方針)

対象期間: 2020年4月~2021年3月

対象組織: 対象範囲はサカエ理研工業㈱(国内7拠点)をベースとし、海外4拠点<栄理研(無錫)科技有限公司/ EAKAS Corporation/ PT. Sakae Riken Indonesia/ Sakae Riken Polyplastics India Private Limited(J/V)>を含んでいます。

(※インドでの新型コロナウイルス感染拡大の影響により、SakaeRiken Polyplastics India Private Limited(J/V)は、今回のレポートには含まれていない部分があります。)

編集: サカエ理研工業株式会社 総務部

※本報告書はGRI「サステナビリティ・レポート・ガイドライン」を参考にしています。

免責事項:本レポートは、サカエ理研工業株式会社及びその海外子会社の事業における過去の実績から今後の計画・予測の情報を記載しています。これらは本レポートの編集時点の情報に基づいたものであり、諸与件の変化によって異なる場合がありますことをご了承ください。

## サカエ理研のCSR行動指針

▶ 世界規模で自動車の保有台数が増加し、自動車業界が100年に一度の大変革期を迎える中で、わたしたちサカエ理研グループは、増加する環境問題や社会問題に真摯に向き合い、新たな価値の創造によって、地球環境の保全と安全な社会づくりに取り組んでいきます。

### サカエ理研のCSR行動指針



わたしたちは、あらゆるステークホルダーに対する企業としての社会的責任を果たすべく、CSR活動を推進しています。

CSRに関する取り組みにおいては、ステークホルダーとのコミュニケーションを通じて信頼関係を構築していくことが重要と考え、相互に連携を図りながら、SDGs(持続可能な開発目標)の達成を目指します。

- ・お客様のために  
新技術の開発、製品品質の向上に継続的に取り組み、お客様からの期待に応えます。
- ・従業員のために  
人権を尊重し、安全で働きがいのある職場を提供します。
- ・取引先のために  
パートナーシップを構築し、サプライチェーン全体での持続可能な調達活動を推進します。
- ・環境のために  
適切な資源の使用と節約、環境汚染物質の排出量を削減し、環境に配慮したものづくりに努めます。
- ・地域・社会のために  
地域社会の一員として、社会貢献活動に積極的に参加し、豊かなまちづくりに貢献します。

2021年4月1日

# 国内・海外ネットワーク

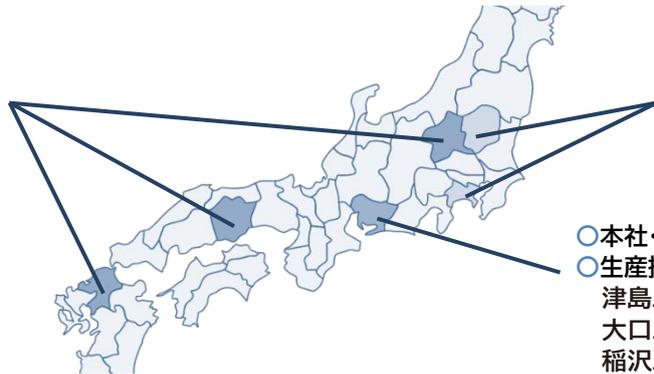
国内7拠点、海外4拠点を構え、グローバルに展開。世界各地のお客様のニーズにスピーディーに対応します。本レポートでは、下記の拠点における取り組みを報告します。

## 国内拠点

サカエ理工研工業株式会社 (略称「SRJ」)

### ○生産拠点

- 美星工場(岡山県)
- 北九州工場(福岡県)
- 伊勢崎工場(群馬県)



- 関東営業所(栃木県)
- 厚木営業所(神奈川県)

- 本社・技術センター(愛知県清須市)
- 生産拠点
- 津島工場(愛知県津島市)
- 大口工場(愛知県大口町)
- 稲沢工場(愛知県稲沢市)

## 海外拠点

栄理研(無錫)科技有限公司(略称「SRW」)  
所在地:中国 江蘇省  
主要製品:外装部品/機能部品/  
めっき部品

EAKAS Corporation  
所在地:アメリカ イリノイ州  
主要製品:外装部品/機能部品/内装  
部品/めっき部品



EAKAS Corporation  
Detroit Office

栄理研(無錫)科技有限公司  
広州営業所

EAKAS Arkansas Corporation  
所在地:アメリカ アーカンソー州  
主要製品:外装部品/機能部品

Sakae Riken Polyplastics India  
Private Limited(J/V) (略称「SRPI」)  
所在地:インド ハリヤナ  
主要製品:機能部品

PT. Sakae Riken Indonesia(略称「SRI」)  
所在地:インドネシア スルヤチプタ  
主要製品:外装部品/機能部品/めっき部品

### 📍 技術提携

- AD Plastik d.d (ロシア・クロアチア)
- Sipro Plastic Industries (マレーシア)
- PT.Astra Otoparts(インドネシア)

# 脱炭素の実現をめざして

2016年11月4日に発効した国連気候変動枠組条約国会議での合意事項を出発点として、世界各国の地球温暖化に対する関心が高まっています。SDGsの目標にもある「気候変動に具体的な対策を」や、2019年10月26日に菅元首相から発表された「2050年までの温室効果ガス排出ゼロ宣言」を受けて、サカエ理研はその脱炭素社会の実現に向けた取り組みを、2019年から出発させているところです。脱炭素化を目指し、持続可能な社会を具現化するため、当社もCO<sub>2</sub>排出量削減に対するマイルストーンを設定しました。サプライチェーンの一端を担う企業の社会的責任を全うすることを強く認識し、着実に取り組みを進めてまいります。

## 2020

### 現在の取り組み

- 各工場における更なる生産性向上に向けての大幅な改善  
(AI・IoTを駆使した自動化やロボット化  
→スマートファクトリー化)
- 本社、技術センター、工場を含めたサカエ理研全体の省エネ機器への取り換え  
(費用対効果の検討から検証を確実に実施)
- 上記取り組みの結果から得られた品質改善・生産性向上の確認とあらゆるロスの削減に向けての改善行動

## 2030

### 今後の取り組み

- 自然エネルギーによる発電でCO<sub>2</sub>削減  
→2021～2023年のうちに国内6工場で実施し、  
年間約3200tの排出量を削減  
→グリーン電力付加価値として、自らが使用する電気が  
再生可能エネルギーによって発電されたものとみなす、  
「グリーン電力証書」を活用し、自主的な省エネルギー・  
環境対策として利用
- サプライチェーン全体でのカーボンニュートラル活動の推進

【2030年マイルストーン】

CO<sub>2</sub>排出量実績  
約**36000**t-CO<sub>2</sub>

CO<sub>2</sub>排出量  
**40%**削減

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs 17のゴール

# 持続可能な社会

## ゼロカーボン 脱炭素社会 の達成

# 2050

新たに設定した  
脱炭素の取り組みを  
具現化させて、当社の全てに  
おいてカーボンニュートラル  
を実現

【最終目標】

C02排出量  
**100%**削減



# 環境

## 関連するSDG s



## サカエ理研の環境方針

▶サカエ理研グループでは、SDG s（持続可能な開発目標）の達成に向けて、環境負荷低減を目指した製品の開発・生産体制を取り、持続可能な自動車開発を推進しています。具体的には下記のような環境方針を軸に、環境マネジメント体制の構築・強化を図っています。

### 環境理念

企業の社会的責任として、環境の保全が最重要課題の一つであることを認識し、企業活動と地球環境の調和をめざし、環境保全に積極的に取り組みます。

### 環境方針

1. 当社は、自動車・家電用のプラスチック製品の開発、設計、生産及び販売を行っており開発、生産活動の各段階において、環境への負荷の低減に努めると共に、積極的な創造開発により地球にやさしい環境負荷の低減を織り込んだ製品を提供し、気候変動の緩和、生物多様性や環境保護に貢献します。
2. ISO14001の要求事項を満足する環境マニュアルを制定すると共に、環境委員会を中心とした、責任と役割が明確な環境マネジメント組織を確立して、ライフサイクルの視点で環境活動を推進し、当社を取り巻きリスク及び機会に取り組んでいきます。
3. 企業活動が環境に与える影響を把握し、技術的・経済的な事情を考慮のうえで、環境目標の設定・見直しを行い、環境の継続的改善、汚染の防止、持続可能な資源の利用に努めると共に、周辺地域との協調を図ります。
  - (1) 環境に影響を与える恐れのある設備、工程等の管理徹底に努めます。
  - (2) 廃棄物の発生抑制及び再使用、再利用に努めます。
  - (3) 省資源、省エネルギーの推進に努めます。
  - (4) 環境負荷低減型の技術開発および製品提供に努めます。
  - (5) 製品含有化学物質の管理の推進に努めます。
4. 社員および構内従業員全てに環境教育を行い、環境方針を周知させると共に、環境意識の向上を図ります。

この環境方針は外部からの要求に応じて公開します。

2018年10月1日

## 環境重点的取組事項

環境マネジメントシステムに基づいた環境方針の遵守と共に、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けたサカエ理研の社会的責任を果たすため、「環境重点的取組事項」を新たに制定しました。

### 1.法令・規則等の遵守

環境関連法令、会社規則、環境マネジメントシステム及びその他の要求事項を遵守し、環境理念・環境方針に従います。

### 2.持続可能な社会の構築

- ・脱炭素社会の実現を目指し、温室効果ガスの排出を抑制します。
- ・資源の節約・リサイクルの促進及び、再生可能な資源の使用と、省エネルギーを推進します。
- ・水の節約、リサイクルを推進すると共に、排出する水の水質を管理し、水資源の保全に努めます。
- ・製品の開発から廃棄までの全ての段階において環境負荷低減を図り、ライフサイクルを考慮した地球にやさしいものづくりを目指します。
- ・化学物質の徹底した管理及び、環境負荷の少ない物質への代替を促進し、環境汚染の防止と生物の多様性を守ります。

### 3.ステークホルダーとの連携

多様なステークホルダーとの密なコミュニケーションを通じて相互に連携・協力します。地域公害等の環境リスク低減を図り、地域社会への貢献に努めます。また、サカエ理研グループの製品を通じて、お客様の健康と安全を守ります。

### 4.海外拠点の環境活動レベルの向上

各海外拠点においても、当該「環境重点的取組事項」を適用し、グローバルな視点で取り組みを推進します。また、全ての拠点で等しく環境活動レベルを向上させることを目指し、管理体制の強化に努めます。

2020年4月1日

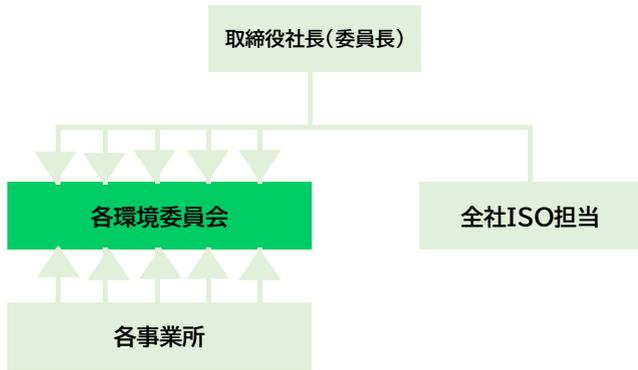
# 環境マネジメント

▶ 当社では下記のように環境マネジメントシステムを運用し、すべての従業員が、自分の業務から環境に影響を与える側面や、環境パフォーマンスの向上によって得られるメリットなどの、環境マネジメントシステムの有効性に対する自らの貢献に関して認識を持つよう、全社で取り組んでいます。

## 環境マネジメント運用体制

### サカエ理研の環境マネジメントシステム

本社・技術センターと各工場においてそれぞれ環境委員会を設置し、会社全体の環境マネジメントを推進しています。また、効果的な環境マネジメントを実施するために、「環境マニュアル」を定めて各部門で運用しています。海外拠点においてはそれぞれ独立したマネジメント体制を取っています。



## ISO14001の取得

環境リスクを低減させながら、経営との両立をめざす環境マネジメントシステムの国際規格。あらゆるステークホルダーに対して、企業の社会的責任を果たしていることを証明します。環境マネジメントシステムを構築し運用するうえで重要なのは、組織の目的や環境保全のために千恵を絞り作り上げて継続的に改善していくことだと考え、組織全体でPDCAを回しながら、方針や目標を達成できるよう継続的に改善します。



-各拠点のISO14001認証書-

### 認証取得拠点

国内	海外
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本社</li> <li>・技術センター</li> <li>・美星工場</li> <li>・北九州工場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EAKAS (Illinois・Arkansas)</li> <li>・SRW</li> <li>・SRI</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・津島工場</li> <li>・大口工場</li> <li>・稲沢工場</li> <li>・伊勢崎工場</li> </ul>	

## 環境関連教育

持続可能なものづくりのためには、従業員一人一人が環境問題を認識し、自主的に保全活動に取り組むことが大切です。当社では入社時に環境方針カードを配布し、常に携帯することで、それぞれが自身の業務に関係する環境影響・リスクを認識し、行動しています。また、海外拠点においても、省エネ教育の実施や朝礼・朝会などでの啓発を行っており、グループ一丸となって環境に対する意識の向上に向けた運動を実施しています。

**私の役割**

1) 私の仕事は、  
2) 関係する著しい環境側面は、  
3) その環境影響は、  
4) 貢献する環境目標は、  
5) 規則を守らない時のリスクは、

所属 \_\_\_\_\_  
氏名 \_\_\_\_\_

**ISO 14001**  
環境マネジメントシステム

**環境理念**  
企業の社会的責任として、環境の保全が最重要課題の一つである事を認識し、企業活動と地球環境の調和をめざし、環境保全に積極的に取り組みます。

**SK**  
サカエ研工業株式会社

**環境方針**

1. 当社は、自動車・家庭用のプラスチック製品の開発、設計、生産及び販売を行っており開発、生産活動の各段階において、環境への負荷の低減に努めると共に、積極的な創造開発により地球にやさしい環境負荷の低減を織り込んだ製品を提供し、気候変動の緩和、生物多様性や環境保護に貢献します。

2. ISO14001の要求事項を満足する環境マネジメントシステムを制定すると共に、環境委員会を中心とした、責任と役割が明確な環境マネジメント組織を確立して、ライフサイクルの視点で環境活動を推進し、当社を取り巻くリスク及び機会に取り組んでいきます。

3. 企業活動が環境に与える影響を把握し、技術的・経済的な事情を考慮のうえで、環境目標の設定・見直しを行い、環境の継続的改善、汚染の防止、持続可能な資源の利用に努めると共に、周辺地域との協調を図ります。

(1) 環境に影響を与える恐れのある設備、工程等の管理徹底に努めます。  
(2) 廃棄物の発生抑制及び再使用、再有用に努めます。  
(3) 省資源、省エネルギーの推進に努めます。  
(4) 環境負荷低減型の技術開発および製品提供に努めます。  
(5) 製品含有化学物質の管理の推進に努めます。

4. 社員および社内従業員全てに環境教育を行い、環境方針を周知させると共に、環境意識の向上を図ります。

2016年10月1日（第3版）



**EAKAS CORPORATION**  
**ENVIRONMENTAL MISSION STATEMENT**

Eakas Corporation is committed to protecting the environment for all interested parties, including our employees, customers, and the communities where we work and live. We realize that by developing and implementing quality environmental programs, we can offer innovative products and services while conserving resources for future generations.  
Eakas Corporation is committed to achieving the goals of the Environmental Policy.

-環境方針カード-

## 環境関連教育・研修/資格取得実績

当社では、年間教育スケジュールに基づき、多くの従業員が毎年様々な研修を受講しています。また、若手社員には常にOJTによる教育体制を取り、従業員同士の知識の共有とレベルアップを目指しています。環境関連の教育としては、入社時の環境教育（全従業員対象：実施率100%）を始め、環境活動教育や外部講習の受講などで環境保全に対する意識向上を目指しています。このほか、当社の従業員だけでなく協力会社に対する環境教育も行っています。2020年度は下記の教育・資格の取得を実行しました。

資格取得(2020)	取得者数
危険物取扱者乙種4種類	1名
第一種衛生管理者	1名
特定化学物質四アルキル鉛作業主任者	4名
乾燥設備作業主任者	1名
有機溶剤作業主任者	1名
QC3級	5名
QC4級	1名

研修(2020)	受講者数
ISO14001,IATF16949関連教育(社内)	新入社員24名及び 各部門該当者
危険物保安講習	2名
エネルギー管理研修	2名
エネルギー管理資質向上研修	2名
低圧電気取扱い業務特別教育	1名

### あいちゼロカーボン推進協議会

当社では定期的なCDP調査（カーボンディスクロージャープロジェクト）を受審していますが、2050年までの脱炭素社会の実現に向けて、この度、2021年4月に発足した「あいちゼロカーボン推進協議会」に加入いたしました。当会は、日本の成長戦略及び地域循環共生圏の考え方を踏まえながら、産業・学術・行政のコラボレーションとイノベーションの喚起に取り組むことによって、ゼロカーボン社会の実現を目指すことを目的とするもので、会員は愛知県だけでなく全国の企業や団体に加え、国・自治体・大学・研究機関・学識経験者などから構成されます。サカエ研はその一員として、先端技術の研究開発とその社会実装や、製品のゼロカーボン化を図り、ゼロカーボンのまちづくりを推進していきます。

（あいちゼロカーボン推進協議会HP：<https://www.izec.org/>）

## 環境負荷削減への取り組み

▶ 当社では、環境委員会を設置し、環境汚染リスクのある項目の実績及び目標達成度を管理しています。また、全従業員に対し「改善事例」の提出を促し、従業員の目線で全社隅々まで改善活動を行っています。日頃の取り組みから、経済産業省の行う法定定期報告に基づく事業者クラス分けで、5年連続（2017年度～）省エネ優良事業者として評価されています。

### 環境改善活動

当社では全従業員に対して社内の改善提案の提出を推進しており、そのうち環境負荷低減の効果を発揮できるものは「環境改善事例」として挙げています。56期\*・57期上期\*は合計8042件の改善事例が提出され、一人当たり平均3.4件の提出がありました。57期上期としては、年間で材料削減約54 t、電気使用量削減381Mwh、費用換算54.8百万円の効果を発揮する改善を実施しました。

### 56期・57期上期 環境改善事例PICK UP

#### 津島工場

- ・1300 tの大型成型機を油圧式から電動機のものへ更新し、  
を**年間242735.5kwhの電力使用量削減**  
→**5760千円の節約**

#### 大口工場

- ・産業廃棄物運搬車の輸送率を向上させ（4tクレーンを外して運行）**年間546kgのCO2を削減**

#### 稲沢工場

- ・ブース循環水キラー材変更により、  
**年間36072kgの塗料スラッジ量削減**  
→**2164.3千円の節約**

#### 本社 購買課

- ・成形外注メーカーの変更により、輸送時に  
**年間36.34tのCO2を削減**  
→**871.2千円の節約**

#### 美星工場

- ・空調機の更新で**年間55.9 tのCO2排出量を削減**  
→**3242.470千円の節約**

#### 北九州工場

- ・顧客との限度緩和交渉で  
**年間306kgの工程内排気量低減**

#### 伊勢崎工場

- ・製品の組み立て方法変更により生産性を向上させ、  
**年間14.9kwhの省エネ**  
→**864千円の節約**

#### EAKAS

- ・段ボール圧縮機を導入し、**紙リサイクルの容易化と業者の搬送による排気ガスの低減を実現**

#### SRW

- ・ボイラー燃焼器の改造により、燃焼効率を向上させ、  
**年間でガス30000m<sup>3</sup>、CO2 5655 tの排出量を削減**  
→**8万円（約1,360千円）の節約**



※56期:2019/10～2020/9  
57期上期:2020/10～2021/3

## 製品設計における環境負荷低減措置

環境に配慮したものづくりのため、製品設計段階から設計環境の影響評価を行っています。新規設計する製品の原材料、製造時の環境負荷、廃棄時の環境負荷に区分して製品のライフサイクルを分析し、細かく分けた評価項目に基づいて評価を行っています。実行された改善内容が現行の製品や他社製品と比較して「改善する場合・同等・悪化」の3段階で評価し、その結果によって設計の見直しを行うことで、より環境に配慮した製品開発の実現を目指しています。

### 製品評価項目

区分	評価項目
原材料の工夫	リサイクル材を採用しているか
	使用原材料の削減を図っているか
	原材料使用種類を削減しているか
	使用材料ごとに部品を容易に分離できるか
	耐食性の処理等による耐久性の向上
	構成部品の小型・軽量化の採用
	他車種・機種との部品共通化
製造時の環境適性	使用禁止・制限材料の確認
	製造エネルギーの低減
	生産工数の低減
構造の工夫	使用副資材の低減
	解体・分解の容易性
	締結個所の減少等による整備性向上
分別のための工夫	取り外しの容易化
	分別処理の容易化
使用後の環境適性	部品の処理時の有害物質の発生防止
	再資源化適性(率)

## 製品生産における環境負荷低減措置

製品の生産段階においては、不良品率の減少による廃棄物の削減や、製造時のエネルギー排出量の削減に取り組んでいます。（p.11「環境改善事例」参照）  
 また、生産ラインにおける著しく環境に影響を与えるような設備・工程の変更や、大幅な材料変更があった場合に、環境側面の影響評価を実施します。環境側面の洗い出しをした後は、有害性の評価を行い、右図の評価点に基づいて、処理の難易性・苦情指導・管理方法・頻度・保管形態・予防施設が適切であるかを分析しています。  
 その他には、製品を出荷する際の「荷姿」の効率のいい梱包の仕方を検討することで、箱や輸送費の削減を実現しています。

### 環境影響評価点

インプット項目		アウトプット項目	
有害化学物質の含有	使用量	有害化学物質の含有	処理の難易性 (排出物の質)
有無		有無	
時通に常稼働	稼働時	通常稼働時	排出量 苦情・指導 管理方法 (法的管理)
影		非通常稼働時	頻度 排出量
響	影	事故時に	保管形態 予防施設
動			

### 水のリサイクル

工場に純水装置を設置し、排水の約30%をリサイクルしています。また、生産設備の冷却水には循環式の冷却水系を使用し、水の使用量を削減しています。



純水装置(稲沢工場)



循環式冷却水系(稲沢工場)

### 廃棄物の処理

工場から排出される、有価物としての引き取りが可能なものに関しては、工場内にリサイクルステーションを設置し、リサイクル業者へ引き取りをお願いしています。また、有害廃棄物とされるものについては「毒物劇物危害防止規定」に倣って適正な処理を行い、当社での処理ができない場合には専門の廃棄物業者へ処理を委託しています。廃棄にあたっては、担当者に廃棄物処理の教育を行うなどして、水質汚濁防止法等の他の法令にも抵触しないよう徹底した管理をしています。



リサイクルステーション(稲沢工場)

## 不良品のリサイクル

プラスチック製品を成形する際に発生する余分な部分や不良品は粉碎してリサイクル利用し、廃棄物の削減を実現しています。また、粉碎の際に発生する粉塵は、大気中に長時間留まっていると粉塵爆発等の事故の原因や健康被害に繋がる可能性があるため、集塵装置で回収し、外部へ流出しないよう管理しています。



集塵装置(稲沢工場)

## 社有車の入替

取引先様や他拠点への移動の際には社有車を使用しますが、長距離の走行になることもあります。Co2排出量削減のための取り組みの一つに、当社の社有車のうち、ガソリン車のはハイブリッド車やEV自動車への入替を進めており、ランニングコストの低減とエコドライブに寄与しています。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、社外/社内会議等のオンライン化を推進し、テレビ会議・WEB会議システムの整備を行いました。これにより、移動による温室効果ガス排出量の削減と共に、業務効率の向上も実現しています。

## 省エネのために

電気使用量及び使用料金の削減のため、全社でLED照明への更新を進めています。工場では、大きなエネルギーが必要となる樹脂成型機を油圧式から電気式のものに入替を進めており、約50%の消費電力削減を実現しています。直近では、岡山県美星工場の組み立てエリアの天井照明をLED化したことで、年間23Mwhの省エネ、345.6千円の節約を期待できる更新を行いました。また、愛知県稲沢工場では、発電と同時に発生する熱を冷暖房や給湯などに利用できる「ガスコージェネレーションシステム」を導入しています。コージェネレーションシステムはクリーンな都市ガスを使用しており、火力発電システムに比べてエネルギーの利用効率が高いため、Co2の排出量の削減を実現しています。

## 海外拠点の環境活動

2020年度の海外拠点の環境活動をご紹介します。

拠点	取り組み(2020)
SRW	・成形機やフォークリフトの電動化
	・LED照明への変更
	・成形、塗装、組立工程の屋根の遮熱塗装
	・輸送トラックを中国の廃棄ガス規制要求基準「国5」に対応
	・高圧RO水精製設備の排水の活用
	・生活污水处理設備の導入 ・塗装排気処理に循環水を使用
EAKAS	・成形機の電動化
	・WWT System(めっき排水装置)の導入
	・Oil Reclaim(オイル関係の再利用)
SRI	・水浄化装置による汚染水排出の抑止
	・LED照明への変更
SRPI	—

## 環境規制への対応

近年、中国での環境規制の強化が顕著になってきています。環境汚染防止対策として、重金属汚染物やCOD・銅・総リン・総窒素、各排水系統のオンライン測定器（環境局とオンラインで接続し、管理するもの）の設置が義務化されたため、中国拠点のSRWで未設置だった設備については早急に追加で設置を行いました。また2022年7月には、SRWが位置する中国江蘇省の大気汚染総合排出基準が更に厳格化されます。現状規制値を超えているものに対しては、以下のように改善し、新しい基準値を下回るよう迅速な対策を行いました。

工程	排気種類	対策
ボイラー	窒素酸化物	ボイラーの改造(燃料装置の更新など)
めっき	クロム酸霧	めっき排気設備改修
塗装	非メタン炭化水素	RCO(濃縮燃焼)設備設置

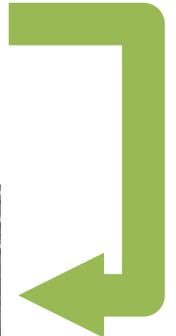
## 地域公害発生防止のために

▶ 当社では生産工程において有害物質となるものも取り扱っていますが、「毒物劇物危害防止規定」を運用し、クリーンな環境の維持と地域公害発生防止のために環境コンプライアンスを遵守し、有害物質の使用工程や処理方法について厳重に管理を行っています。

### 排水の処理

工場からの排水は、含有物質の測定を行い、有害物質の流出防止対策を講じています。排出される污水は専用のタンクに回収したのち、浄化槽を経て河川へ放流しています。有害物質が含まれるめっき工程の排水については、専用のタンクに回収し、有毒物質を凝集、汚泥として抽出・回収したのち、水質調整装置にて適正な処理を行ってから河川へ放流しています。

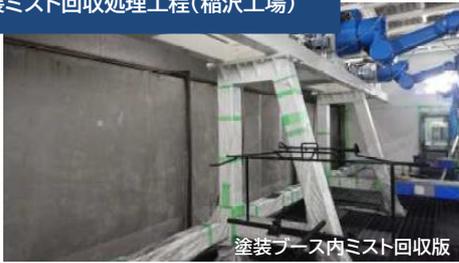
めっき排水処理工程(稲沢工場)



### 塗装ミスの処理

当社の製品は樹脂成型品に様々な塗料を吹き付け、塗装を行います。塗装ブース内に循環水が流れる水流板を設置し、塗装ミスを水に吸着させ、薬液を使って凝集し、汚泥として抽出・回収することで、大気・河川への流出を防止しています。

塗装ミス回収処理工程(稲沢工場)



## 緊急時の対応

設備の故障・停止や誤操作、事故などにより、化学物質等の流出が起きた場合の対応手順として、「環境事故対応手順書」を定めています。様々なケースを想定した環境への影響、対応手順、緊急連絡先、必要な機材等の情報を記載し、関係業務に当たる従業員で訓練を行っています。また、手順書の定期的な見直しを行い、継続的に追記・改訂することで、常に万が一に備えた適切な対応ができるよう体制を整えています。



化学物質流出事故訓練の様子

## 化学物質の管理

毒物及び劇物取扱法に基づき、当社では「毒物劇物危害防止規定」を定めています。当該規定では、毒物劇物の管理・点検、盗難・紛失防止措置、廃棄等に係る取扱いについて定め、保健衛生上の危害発生を未然に防止しています。

## PRTR対象物質

当社はPRTR制度（事業所から排出される有害物質の届出及び国による集計・公表制度）に基づき、「特定化学物質取扱量届出書」において、取り扱い量を報告しています。これまでのPRTR対象物質の排出量は、右図のような推移となっています。

また、アメリカ拠点のEAKASでは、揮発性のある有機化合物削減のため、「HAPS（有害大気汚染物質）フリー塗料」の開発を塗料メーカーと協力して行い、切り替えを進めています。

PRTR対象物質(VOC)排出量 (2019/4~2020/3)



## 騒音・振動対策

騒音や振動に関する問題は「典型七公害」に含まれる公害の一つです。全国的に公害受付件数の中でも一番多く、日常生活に密接に関わる公害です。当社工場では市への定期報告において、敷地内数か所で時間帯別に騒音測定を行い、法規制に適合していることを確認しています。また、工場内にトラックヤードを設置することで、運搬作業を敷地内で行うことができ、作業効率化と共に近隣への騒音対策や周辺の道路の渋滞も抑制しています。一部の工場には、高い遮音性のあるALCコンクリート外壁の使用や、コンプレッサー室・粉砕室に防音壁を導入するなどして、騒音が近隣に漏れないよう対策を講じています。



トラックヤード(稲沢工場)

## 2020年度環境実績ハイライト

サカエ研の事業活動を通じたインプット（消費）とアウトプット（排出）を記録し、環境に負荷を与えるアウトプット項目は削減を目指して環境負荷低減活動を推進しています。

## INPUT

## エネルギー

	電気使用量	単位	ガス使用量	単位	LPG使用量	単位
愛知地区	31,815,917	Kwh	2,738,960	m <sup>3</sup>	—	Kg
美星工場	2,898,142	Kwh	—	m <sup>3</sup>	166,709	Kg
北九州工場	7,352,805	Kwh	568,889	m <sup>3</sup>	—	Kg
伊勢崎工場	9,757,722	Kwh	870,864	m <sup>3</sup>	—	Kg
サカエ研合計	51,824,586	Kwh	4,178,713	m <sup>3</sup>	166,709	Kg

## エネルギー総消費量(サカエ研グループ)

	単位
サカエ研	106,183 Mwh
SRW	10,950 Mwh
EAKAS	22,106 Mwh
SRI	212 Mwh
SRPI	191 Mwh
グループ合計	139,642 Mwh

## 水

	水使用量	単位
愛知地区	432,917	m <sup>3</sup>
美星工場	8,042	m <sup>3</sup>
北九州工場	93,914	m <sup>3</sup>
伊勢崎工場	196,672	m <sup>3</sup>
サカエ研合計	731,545	m <sup>3</sup>

## 水総使用量(サカエ研グループ)

	単位
サカエ研	731,545 M <sup>3</sup>
SRW	245 M <sup>3</sup>
EAKAS	23,859 M <sup>3</sup>
SRI	20,047 M <sup>3</sup>
SRPI	1 M <sup>3</sup>
グループ合計	775,697 M <sup>3</sup>

## OUTPUT

## 廃棄物

(有害廃棄物)	廃塗料排出量	単位	めっきスラッジ排出量	単位
津島工場(愛知)	86	t	0	t
大口工場(愛知)	42	t	0	t
伊勢崎工場	0	t	11	t
サカエ研合計	128	t	11	t

## 有害廃棄物総排出量(サカエ研グループ)

	単位
サカエ研	140 t
SRW	1,547 t
EAKAS	547 t
SRI	5 t
SRPI	0 t
グループ合計	2,239 t

(非有害廃棄物)	廃プラスチック	単位	塗装スラッジ	単位
愛知地区	151	t	288	t
美星工場	83	t	15	t
北九州工場	62	t	19	t
伊勢崎工場	42	t	20	t
サカエ研合計	338	t	342	t

## 非有害廃棄物総排出量(サカエ研グループ)

	単位
サカエ研	680 t
SRW	21 t
EAKAS	476 t
SRI	0 t
SRPI	3 t
グループ合計	1,180 t

## 大気への排出

	Co2排出量	単位
愛知地区	22,956	t-Co2
美星工場	1,721	t-Co2
北九州工場	5,165	t-Co2
伊勢崎工場	6,220	t-Co2
サカエ研合計	36,062	t-Co2

## Co2総排出量(サカエ研グループ)

	単位
サカエ研	36,062 t-Co2
SRW	6,607 t-Co2
EAKAS	6,675 t-Co2
SRI	4,083 t-Co2
SRPI	0 t-Co2
グループ合計	53,427 t-Co2

# 社会

## 関連するSDGs



## サカエ理研の品質方針

- ▶ 人の命を乗せる自動車の部品には、高い品質が求められます。当社が製造する外装部品では高品質の美しさを、機能部品では高品質の機能性を追求しています。「安全な車」の開発に寄与することを通して、「安全な社会づくり」に貢献します。

### 品質方針

1. いつもお客様に満足される高い品質と信頼性のある製品を造ろう。
2. いつもお客様のニーズに合った技術と製品の開発をしよう。
3. いつも頭と体を使い世界に向けて行動しよう。

### 方策

1. 開発、デザイン、設計、生産技術、製造の総合一貫体制により顧客のニーズに応える。
2. 高品質表面処理技術と生産設備の完備により高品質の製品を提供する。
3. ニーズを先取りする研究開発の推進と徹底した品質保証体制により顧客の満足と信頼を得る。
4. 品質マネジメントシステムの要求事項を満たし、その有効性を継続的に改善することで、自社ブランドのさらなる好循環が生まれる。

2020年10月1日

# 品質マネジメント

▶ 100年に一度の変革期を迎える自動車業界は、グローバルなフィールドで開発競争を繰りひろげており、走行性能や安全性、デザイン性、環境性能など、かつてないほどの厳しい技術水準が求められています。わたしたちは、高度化・多様化する全世界の自動車メーカー様の要求に高いレベルでお応えするため、国際環境マネジメントに関する「ISO14001」に加え、自動車産業に特化した国際的な品質保証規格「IATF16949」の認証を取得しています。

## IATF16949の取得

ISO9001をベースに、世界の自動車関連規格を統合した国際的な品質保証規格「IATF16949」。高度な品質管理体制で顧客ニーズに応えられることを世界に証明することができます。

### 認証取得拠点

国内	海外
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本社</li> <li>・技術センター</li> <li>・美星工場</li> <li>・北九州工場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津島工場</li> <li>・大口工場</li> <li>・稲沢工場</li> <li>・伊勢崎工場</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EAKAS (Illinois・Arkansas)</li> <li>・SRW</li> <li>・SRI</li> </ul>

また、入社時に環境方針カードと共に品質方針カードを配布し、常に自分の業務に関係する品質影響・リスクを認識できるよう啓発しています。

**IATF16949**  
品質マネジメントシステム

**品質方針**

1. いつもお客様に満足される高い品質と信頼性のある製品を造ろう。
2. いつもお客様のニーズに合った技術と製品の開発をしよう。
3. いつも頭と体を働かせ世界に向けて行動しよう。

**SR**  
サカエ理工工業株式会社

**方 策**

1. 開発、デザイン、設計、生産技術、製造の総合一貫体制により顧客のニーズに応える。
2. 高品質表面処理技術と生産設備の完備により高品質の製品を提供する。
3. ニーズを先取りする研究開発の推進と徹底した品質保証体制により顧客の満足と信頼を得る。
4. 品質マネジメントシステムの要求事項を満たし、その有効性を継続的に改善することにより、品質上の不具合発生を撲滅する。

1. 心を込めて **ブランド品**  
2. 心を込めて **一気通貫**  
3. 心を込めて **改善**  
4. 心を込めて **情報の共有**

2018年4月(第3版)

**私の役割**

1. 私の仕事は、
2. 私に求められる能力は、
3. 私の品質目標は、
4. 所属部署の品質目標は、
5. 規則を守らない時のリスクは、

所属 \_\_\_\_\_  
氏名 \_\_\_\_\_

**宣 言**

1. 私は法令、規制、社会の規範を守ります。
2. 私は会社の規範を守り、品質方針、方針に従って行動します。
3. 私は会社の規定、要領、作業手順他の規則を守り、異常や不良の発生を予防します。
4. 私は異常や不良を見つけたら速やかに上司へ報告し、次工程への不良流出を防止します。
5. 私は部門の品質目標達成と活動推進に貢献します。

20 年 月 日



**EAKAS CORPORATION**

Eakas Corporation is committed to:

- Continual Improvement
- High Quality Product
- On Time Delivery
- Customer Service & Satisfaction



Quality Policy Statement

-品質方針カード-



-第61回 品質月間胸章-

また、年に一度の品質月間には、従業員全員が「品質月間胸章」を身に着け、改めて品質の向上について考え、見直し、品質強化活動を実施します。全社で品質意識の向上、品質保証体制の強化を図り、顧客満足度アップを目指します。

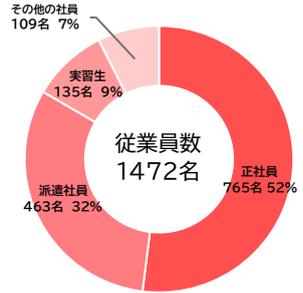
# 人権マネジメント

▶ 「従業員の成長が企業の成長」と考え、従業員が働きやすい環境づくりを実施しながら、幅広い教育体制で従業員の人材育成に取り組み、会社全体のレベルアップを図ります。

## ダイバーシティ

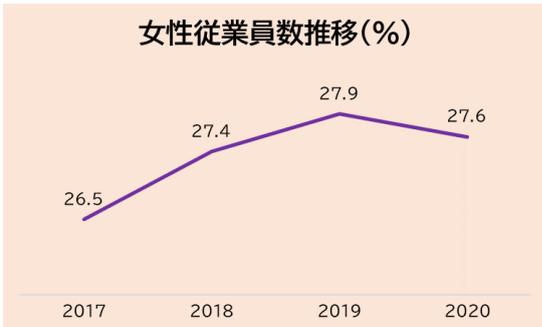
当社では、人権尊重・差別撤廃のために、女性社員の管理職への登用や、高齢者や障がい者・外国人などの多様な人材の雇用の促進と、安心・安全に活躍できる職場づくりを推進しています。雇用条件及び賃金における較差の撤廃（同一労働同一賃金の実現）はもとより、平等な機会の付与を意識した雇用を図っています。昨今では新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別が発生することのないよう注意喚起をしています。今後もグローバルな自動車部品サプライヤーとして、従業員の多様性と人権の尊重を図った人権マネジメントを実施していきます。

人員構成(サカエ研単体 2020年5月末時点)



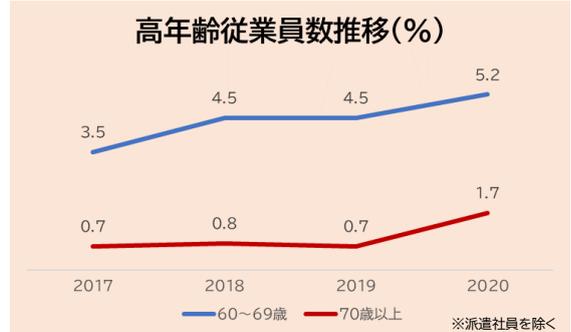
### 女性社員の活躍

2020年5月時点での女性従業員の割合は27.6%、女性の管理職としては約0.9%（役職をもつ従業員のうち）が主任（係長級）として活躍しています。（役員を除く）製造業は一般的に男性の割合が多いですが、当社においては育児関連制度を充実させ、柔軟な勤務形態や企業主導型保育施設の設置などを通して、女性の働きやすい環境づくりを進めており、今後も女性の雇用促進・管理職への登用促進を図っていきます。



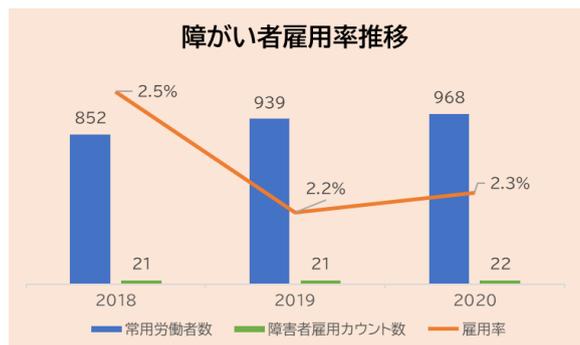
### シニア世代の活躍

平成16年に成立した「改正高齢者雇用安定法」に対応した「高齢者継続雇用規定」を定め、定年到来以降も引き続き雇用を希望する社員全員に、年齢制限を設けず継続雇用を図る再雇用制度を設けています。2020年4月時点での60～69歳の従業員の割合は5.2%、70歳以上は1.7%となりました。管理職としては約8%（役職のある従業員のうち）が現在も活躍しています。（役員・派遣社員を除く）



### 障がいを持つ従業員の活躍

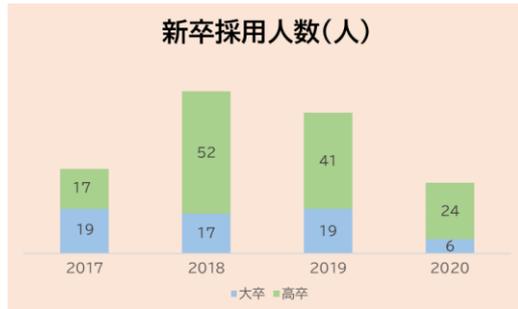
当社でも製造部門において障がい者雇用の促進を図っています。過去3年間の雇用率推移は右のとおりです。2020年度の在籍人数は22名、雇用率2.3%となり、令和3年3月から引き上げられた法定雇用率2.3%も確保しています。障がい者の雇用に当たっては、まず工場で実習を行った後に、勤務時間や業務内容等についての入念なヒアリングを実施します。一人一人が働きやすい条件で採用を行い、個々の能力が最大限に発揮できるような職場環境の提供に努めています。



## 新卒・中途採用

厚生労働省による「雇用条件・応募方法の明確化」、「公正な採用基準」、「基本的人権の尊重」に基づく公正な採用選考実施の奨励に基づき、当社においては全ての職種において性別や文理を問わない採用を行っています。また、採用選考に携わる担当者に対しては、労働大臣指針に基づく「採用選考時に配慮すべき14事項」を周知し、公正な採用活動を実施しています。

2020年度の新卒採用としては大卒6名、高卒24名、中途採用では5名が新しく仲間入りしました。



※2018・2019年度は伊勢崎工場新設に伴い、採用人数が多い年となりました。

## 外国人技能実習生

当社では、フィリピン・ベトナム・インドネシアなどから外国人技能実習生を受け入れています。外国人従業員の労働災害割合が日本人よりも高い傾向にある中、外国人技能実習生の受け入れにおいては、作業手順書や施設内掲示物の複数の言語への翻訳や、安全教育の徹底により、社内ルール・作業ルールを日本人の社員と同レベルまで浸透させることを通して、安心・安全な職場環境づくりを目指しています。また、実習生を受け入れている工場において、実習生指導の担当者には「外国人実習生実習指導員講習」を受講させ、実習生との関わり方や関連法令など、実習生への適切な指導方法について学びます。



## 人事考課の実施

社内を活性化させる取り組みの一つとして、毎年人事考課を実施し、ジョブローテーションを行っています。従業員それぞれの適性に合った計画的なローテーションで、多様な経験を積むことを目的としています。海外拠点においてもそれぞれ独自の、現地の情勢や働き方に合わせた人事制度を持ち、長く働ける会社づくりに努めています。

## ハラスメント対策

職場におけるハラスメント行為の撲滅・防止のために、「ハラスメント撲滅ポスター」を定め、パワハラ・セクハラ・マタハラ（マタニティハラスメント）等のハラスメント防止に係る方針を周知・啓発しています。なお、相談窓口には男性の相談員・女性の相談員それぞれを配置し、相談しやすい環境づくりにも心がけています。また、通信教育での「セクハラ・パワハラ・マタハラ防止」講座の受講（2020年度実績：5名）や、年に二回の「ハラスメント撲滅・防止対策セミナー」の実施も始まり、自分自身と職場環境の見直しを行っています。

### 海外拠点の取り組み

アメリカ拠点のEAKASでは、雇用時において、差別や人権侵害防止に関する研修を実施しています。また、顧問弁護士によるセミナーを定期的で開催しており、会社全体の意識向上を図っています。従業員の約半数が女性であることや、ヒスパニックやアフリカ系など外国にルーツを持つ従業員が全体の37.2%を占める(2020年)など、従業員のダイバーシティ経営を推進しています。

# 人材育成

当社では、社訓の一つである「能力啓発を図れ」という理念のもと、社内の最も重要なリソースである「人材」の育成が会社組織力の醸成に直結するものとして、従業員の育成と自己啓発の推進に力を入れています。入社後は必ず一定の研修期間を経て配属され、配属先にて一人一人の教育計画を策定のもと、OJTでの教育はもとより、それぞれの業務内容に合わせた通信教育やセミナーの積極的な受講を奨励しています。また、1~2年程度の海外短期赴任や、海外拠点の現地従業員に日本で技術研修を行うなど、グループ一丸となって人材育成に取り組んでいます。2020年度の従業員一人あたりの研修時間は以下の結果となりました。

**サカエ工研 57期※の人材育成目標**  
**「当事者意識を持って会社方針を推進する人材の育成」**  
 ①海外拠点支援、運営を任せられる人材の育成（コミュニケーション能力の向上）  
 ②各部門運営における個人の資質向上  
 ③開発、生産、管理体制強化に要する優秀な人材の獲得

※57期:2020/10~2021/9

一人当たりの年間平均研修時間(2020)

SRJ	55時間
EAKAS	12時間
SRW	5時間
SRI	0.036時間
SRPI	44時間
サカエ工研グループ	21時間

※一人当たりの年間平均研修時間=年間総研修時間/総従業員数

## 階層別教育

当社における教育区分は、新入社員から経営トップ層までの階層別にA~Cクラスに分けられます。毎年「人材育成教育スケジュール」を策定し、役職別・職種別での計画的な階層別教育を実施しています。

区分	教育項目	社内	社外
Aクラス	経営トップ層の経営教育		●
	経営トップ層の品質管理教育		●
Bクラス	管理者経営教育	●	●
	管理者品質管理教育	●	●
	管理者専門技術教育	●	●
	公的資格取得教育 その他所属長の認めた教育	●	●
Cクラス	新入社員教育	●	●
	品質管理教育	●	
	技術修得教育	●	●
	QCサークル教育	●	●
	QCサークル会合 その他所属長の認めた教育	●	●

サカエ工研工業㈱ 2020年度人材育成教育スケジュール

対象者	2020/2月	2020/3月	2020/4月	2020/5月	2020/6月	2020/7月
新入社員	入社前:通信教育		新入社員研修 ・ビジネスマナー ・英語研修 ・各部署・工場実習			
係長級 (間接部門)				5/13: 係長研修	6/9・6/10: 係長研修	
係長級・班長・班員および候補生 (製造部門)					6/4・6/5: 製造監督者研修	
課長級 (間接部門)					6/23・6/24・7/20・7/ 課長研修	
課長級 (製造部門)			4/15・4/16: 製造管理者研修			10/5・10/6: 製造管理者研修
新任監督者 (間接・製造部門)				6/1: 新任監督者のための研修		11/16: 新任監督者のための研修
安全衛生管理					特別管理産業毒物管理責任者講習 防火管理者講習	
品質管理		品質管理検定 (1級~3級)				品質管理検定 (1級~3級)
若手社員	EAKAS短期赴任研修(赴任期間1年~2年)E2ビザ取得 <small>目的:若手社員に海外就労を体験させることによって、国際感覚の付与と、本人のキャリアアップ意欲を刺激させ、それによって多面的な人材登用に寄与できる。</small>					
技能職	フォークリフト運転技能講習・玉掛技能講習・クレーン技能講習・ガス/アーク溶接技能講習・乾燥設備作業主任者技能講習・有機溶剤作業主任者技能講習・危険物取扱者保安講習・公害防止管理者講習 エネルギー管理士講習・ボイラー実技講習・低圧電気取扱講習・高所作業車運転技能講習・特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習・はい作業主任者技能講習					
各部門	過年実施 職能別教育(総務・経理・営業・品証等 各部門に適用するセミナーを総務部で決定し参加させる。)					
本社・技術センター			4/13-4/14 ハラスメント講座-防犯対策セミナー			11/17-11/18 ハラスメント講座-防犯対策セミナー
各工場			4/20-4/21 ハラスメント講座-防犯対策セミナー			11/19-11/20 ハラスメント講座-防犯対策セミナー
希望者・海外赴任者	過年実施 語学研修(毎週2H)					
対象者	過年実施 通信教育(自己啓発)					

## 英語教育

グローバルにネットワークを広げるサプライヤーとして、どの部署においても英語のスキルは欠かせないものになってきています。当社では英語のネイティブ講師を招き、週に一度、終業後に英語教室を開いています。参加者は事前のレベル分けテストで3つの少人数クラスに分かれ、それぞれのレベルに合った授業で英語のスキルを磨きます。

また、将来的に海外拠点へ赴任する候補生は1~2年程度の短期間でアメリカ拠点のEAKASへ赴任し、国際感覚の付与と、本人のキャリアアップ意識を高揚させ、多面的な人材登用に寄与します。

## 通信教育

サカエ工研では全従業員に対して、年に二回の通信教育の受講を促しています。全ての職種毎に必要な知識・スキルを学ぶことができるコースを始め、社会人基礎力やコミュニケーションスキル、語学やペン字など多岐にわたるコースを用意しており、今年度は148コースを展開しました。より多くの従業員が継続的に自己研鑽に励むことができるよう、毎年新しいコースを増やしています。受講料についても、年一回は全額会社負担で受講することができます。（二回目は受講料の20%のみ受講者負担）。2020年度はこれまでの受講数を大幅に上回り、637名が受講しました。

### 通信教育受講件数

	2017	2018	2019	2020
営業部	9	9	7	11
購買課	3	4	3	2
品質保証部	21	16	6	19
生産準備部	7	7	6	5
総務部	6	5	7	6
生産管理部	-	2	3	3
経理部	2	3	3	3
情報システム課	-	6	2	1
開発部	35	44	44	47
設計部	35	39	39	41
稲沢工場	31	21	25	150
津島工場	40	34	36	172
大口工場	39	44	59	61
美星工場	18	15	13	6
北九州工場	63	68	71	72
伊勢崎工場	5	75	69	38
合計	314	392	393	637



-2020年度通信講座パンフレット-

## 安全衛生

▶ 従業員が健康的に生き生きと働ける職場環境づくりのため、常に安全最優先の仕事を実現します。安全衛生教育を通して安全衛生に対する意識を高め、法令を順守することはもちろん、過重労働の防止、安全行動の実施・改善・効率化を推進します。

### 安全衛生環境管理 管理組織図



### 安全衛生委員会

当社では、各拠点に会社代表（事業者が指名）と労働者代表（労働者の過半数を代表する者の推薦に基づいて事業者が指名）からなる安全衛生委員会を設置しています。長時間労働の状況や、メンタルヘルス・労働災害発生状況、リスクアセスメントに関する事項などについて認識し、改善が必要なものについては対策を講じます。各海外拠点においても独立した安全衛生委員会を設置し、全拠点で計91名の安全衛生委員会メンバーで構成されています。会社と従業員が一体となって安全で豊かな職場環境を守ることを意識し、取り組んでいます。



		所属人数
SRW	安全衛生環境委員会	30名
EAKAS	Safety Committee	11名
SRI	HSE Committee	10名
HSE・・・Health・Safety・Environment		
SRPI	-	2名

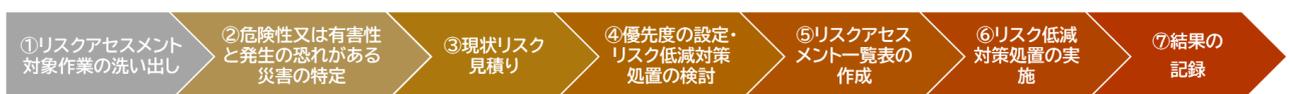
### リスクアセスメント

当社のリスクアセスメント教育は、派遣社員を含めた該当する全従業員を対象に行い、テスト試験及び講師による受講者の理解度チェックを行います。理解度のレベルによっては補講を行い、安全な作業と安全な作業環境を整えることを義務付けています。講師についてはリスクアセスメント推進担当者が担っています。（津島工場では各部門でリスクアセスメント推進担当者を選定し、リスクアセスメントに関する知識が不十分な推進担当者には総務課で基礎教育を実施しています。）

また、当社では各工場に「生産技術部（係）」を設け、日ごろから設備の点検・修理・改善を行うことで、従業員の安全を守ることはもちろん、製品の不良率低減や生産効率の向上・合理化を図っています。

また、「危険作業のリスクアセスメント実施要領」を定め、毎年7月の安全月間にリスクアセスメントを実施します。

### リスクアセスメント実施フロー



## 健康管理

サカエ理研では、全従業員に対して定期的な健康診断の受診を推奨しています。正社員に対しては、年に一回以上の定期健康診断の受診を義務付け、製造部門で有機溶剤を扱う従業員には、特殊健康診断の受診も義務付けています。また、年に一度のインフルエンザの集団予防接種も実施しています。

### 健康診断受診率(2020)



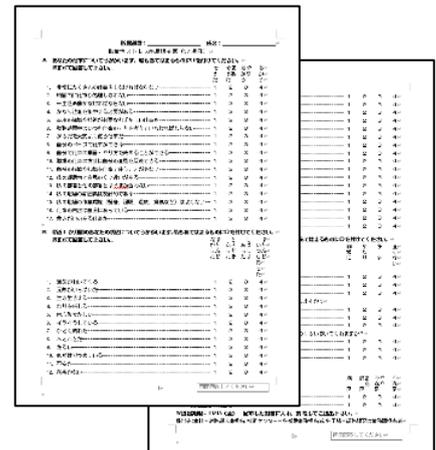
### 海外拠点の取り組み

中国拠点のSRWでは、「職業病防治管理規定」を定め、仕事上のストレスや危害の要因を測定・評価しています。また、食中毒・熱中症・伝染病等の社内で起こりうるあらゆる傷病に対する予防方法・応急処置の仕方などを規定し、従業員が健康に働けるような職場づくりを心がけています。

その他、男女雇用機会均等法などの女性労働者の福祉増進に関する法律に基づき、妊娠中及び出産後の従業員の働きやすい環境づくりとして、通勤緩和や休憩に関する措置について定めた「妊産婦の母性健康管理規定」を制定しています。

## ストレスチェック

毎年従業員に対し任意でのストレスチェック調査（厚生労働省版ストレスチェック実施プログラム）を実施しています。高ストレスと判断された従業員には当社の産業医との面談を設定し、適切な労働支援策を講じています。2020年度のストレスチェック受検者は140名、うち高ストレス者の割合は15.7%となりました。ストレスチェック受検者数の増加及び高ストレス者数の低減を目指し、社内での取り組みを進めていきます。



-ストレスチェック調査表-

## 労働災害

当社グループの2020年度の労働災害度数率及び労働災害強度率は右記の結果となりました。今後も労働災害発生ゼロを目指して、「4S（整理・整頓・清掃・清潔）」を始めとした安全衛生を推進していきます。当社グループの2020年度の休業を伴う災害発生件数は合計16件です。

- ・労働災害度数率=100万延べ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数をもって、災害発生頻度を表したものの
- ・労働災害強度率=1,000延べ実労働時間当たりの延べ労働損失日数をもって、災害の重さの程度を表したものの

### 労働災害度数率・強度率(2020)

	労働災害度数率	労働災害強度率
SRJ	2.13	0.01
SRW	6.23	0.01
EAKAS	2.47	0.105
SRI	12	0.005
SRPI	—	—
サカエ理研グループ	3.54	0.028

### 2020年度 重大災害防止テーマ

「非正常作業における危険作業の洗い出しと事故防止対策」

### 2020年度目標

「成形機関連のメンテ・故障修理時における安全作業のルールを明確にし、作業に必要なツールと寛容を整備する」

### 活動実績

各職場単位で実施していたリスクアセスメントを、安全衛生委員会が主導して活性化を計画。全職場の係長クラスからリスクアセスメントメンバーを選出し、リスクの洗い出し、改善事項の抽出を実施することで活性化を図った。

### 2021年度重大災害防止テーマ

「準高所作業(2m未満)の安全性改善」

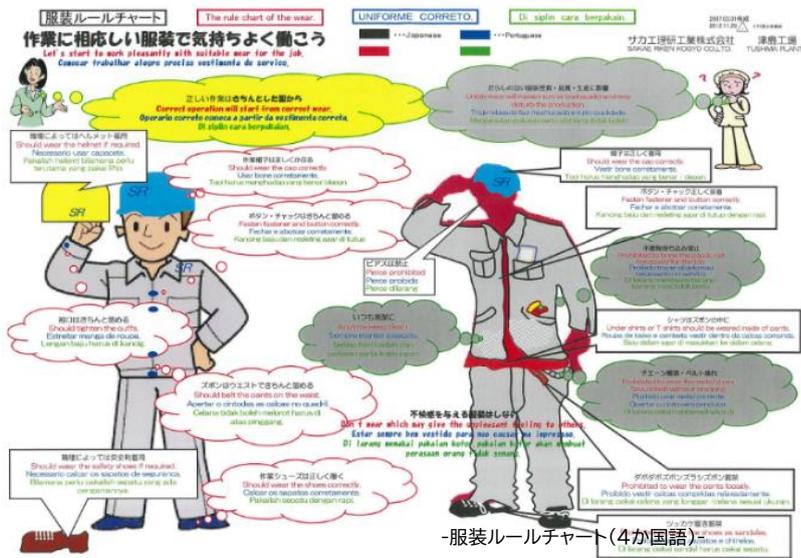
### 2021年度目標

「工場内で1m以上、2m未満で実施する作業を「準高所作業」として洗い出し、安全対策を実施する」

(協豊会活動より)

快適な職場環境

従業員が長く働ける会社づくりの一つとしては、快適な職場環境づくりも重要なファクターの一つです。特に工場においては、夏場の暑さが厳しいときや、危険のある環境で作業を行うこともあります。夏場は空調服の提供や熱中症防止の呼びかけを行い、危険を伴う作業を行う場合は防護具・防護服の着用を義務付けるなどして、必ず安全な作業環境で業務を行うよう指導しています。また、複数の言語に翻訳した作業指導票では、初めて見た人も熟練の作業員と同じように安全かつ最適な作業を行うことができるように整備しています。



海外拠点の従業員との関わり

海外拠点の従業員に対する主な取り組みと、従業員データをご紹介します。

拠点	主な取り組み	従業員データ(2020.5時点)		単位
SRW	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO45001認証取得(2012.12)</li> <li>・無錫市労働保障誠信企業に表彰(2021年)</li> <li>・工会(労働組合)の設置</li> <li>・従業員満足度調査の実施(2020年満足度は78.55%)</li> <li>・社員旅行の開催</li> <li>・日常作業禁止事項カードを配布し、安全な作業環境を推進</li> <li>・安全防火訓練・環境事故対応訓練実施</li> <li>・未成年保護管理規定による16歳~18歳未満の未成年従業員の保護に関して定める</li> <li>・女性社員保護管理規定を定め、女性の働きやすい環境づくり</li> <li>・毎年6~9月において気温の高い環境で働く従業員に高温手当を支給</li> </ul>	従業員数	217	名
		女性従業員数	138	名
		管理職の女性の割合	17.4	%
		外国人従業員の割合	37.2	%
EAKAS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業規則にアルコール・ドラッグ/ハラスメント・差別/オーブンドアポリシ- /職場での暴力禁止等について制定し、従業員の健康と安心・安全を推進</li> <li>・年に一度のハラスメントセミナーの実施</li> <li>・Advisory meeting(諮問委員会)の設置</li> </ul>	従業員数	424	名
		女性従業員数	224	名
		管理職の女性の割合	14.3	%
		外国人従業員の割合	ヒスパニック系・アフリカ系 37.2 (うち管理職の割合は19%)	%
SRI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員満足度調査の実施</li> <li>・二者協力機関(労使間協議会)の設置</li> <li>・人種・種族・宗教・性別等による差別を認めないことを就業規則で制定</li> <li>・雇用時に心理的及び肉体的な健康診断の実施</li> <li>・18歳以上かつ肉体的・精神的に健康であることを条件に雇用を実施し、児童労働・強制労働を防止</li> </ul>	従業員数	254	名
		女性従業員数	67	名
		管理職の女性の割合	12.0	%
		外国人従業員の割合	37.2	%
SRPI	-	従業員数	83	名
		女性従業員数	20	名
		管理職の女性の割合	25	%
		外国人従業員の割合	37.2	%
サカエグループ 合計		従業員数	2450	名
		女性従業員数	978	名
		管理職の女性の割合	6.2	%
		社会的に脆弱な従業員の割合	16	%
		(うち管理職の割合は7.1%)		

※「社会的に脆弱な従業員」とは、社会的に不利な立場に置かれる人を指します。ここでは、その国における外国人従業員や高齢者、障がい者を含んでいます。

## 働き方改革

### 育児・介護関連制度

当社では育児休業・介護休業をはじめ、お子さまの看護休暇や育児・介護による短時間勤務について下記のように定め、男女問わず子育てや介護と仕事の両立ができるような環境を整えています。

育児休業制度	子が1歳になるまで(保育所に入れない等の場合には、再度申出ることにより、最長2歳まで)育児休業を取得することができます。
介護休業制度	対象家族1人につき3回まで、通算93日まで介護休業を取得することができます。
子の看護休暇	小学校就学前の子を養育する従業員は、申し出により、1年間につき5日(2人以上の場合は10日)を限度として、子の看護休暇を取得することができます。
育児・介護短時間勤務	従業員で3歳未満の子を養育する者、または要介護状態にある家族を介護する者は、申出により、所定労働時間を午前9時から午後4時までの6時間(うち休憩時間は所定の1時間)に変更することができます。
復帰後の勤務について	育児・介護休業後の勤務は、原則として休業直前の部署及び職務となります。

### 企業主導型保育施設

働き方改革に対応した企業主導型保育施設「サカエなかよしほいくえん」が2019年に群馬県伊勢崎工場の敷地内に開園しました。サカエ研社員は無料で利用することができ、働きながら安心して子育てができるような職場づくりを目指しています。自社従業員のお子さま(自社枠)だけでなく、周辺の地域住民および近隣企業のお子さま(地域枠)などにもご利用いただいております。

施設には看護師を常駐させ、園児の健康管理に配慮しており、幅広い教育プログラムの実施や、園庭と約380坪の運動場では多様な遊具を設置するなどして、園児の知的発達・身体的発達を促しています。



サカエなかよしほいくえん利用者数 (2020.4時点)

	自社枠	地域枠	合計
在園児	11名	11名	22名
入園予定	0名	1名	1名
合計	11名	12名	23名

### 柔軟な勤務形態

従業員のワークライフバランスの実現のために、フレックスタイム制度や短時間勤務制度のほか、半日単位からの有給休暇制度を導入し、ひとりひとりに合わせた働きやすい勤務形態を支援しています。また、昨年から新型コロナウイルス感染症対策として、リモートワークや時差出勤も取り入れ、柔軟性のある働き方を実現しています。



### クールビズ

働きやすい環境づくりの一環として、男性はノーネクタイ、ノージャケットで勤務することを可能とする「クールビズ」を夏だけでなく一年を通して実施しています。

## 社会活動

▶ 地域への貢献は、企業に求められるCSR活動の一環として果たす責務でもあります。サカエ研グループでは、地域と共存した企業活動を目指し、コミュニケーションを大切にしながら、豊かなまちづくりに貢献します。

### 地域・社会貢献活動

#### 地域とのコミュニケーション

お客様や取引先様とのコミュニケーションだけでなく、地域の方々の声に応え、地域に根付いた企業運営を通じて、あらゆるステークホルダーと良好な関係を築き上げていきたいと考えています。地域とのコミュニケーションとしては、病院・神社等への寄付や、敷地内及び町内清掃の定期的な実施（除草作業や樹木選定など）に加え、下記のような活動を行っています。



工場見学の様子(大口工場)



清掃活動の様子(伊勢崎工場)

取り組み	
津島工場(愛知県)	2020年9月より、班長以上の従業員3名で、退勤時に工場駐車場から一般道に出る車両の交通整理活動をスタート
稲沢工場(愛知県)	稲沢工場がある祖父江町で毎年開催される「そばえいチョウ黄葉まつり」で、祭に訪れる方に向けて工場駐車場の貸し出し
津島工場/大口工場 /北九州工場 他	地元の小学生に対する工場見学を実施

#### 地域未来牽引企業

2017年には、経済産業省より「地域内外の取引実態や雇用・売上高を勘案し、地域経済への影響力が大きく、成長性が見込まれるとともに、地域経済のバリューチェーンの中心的な担い手、および担い手候補である企業（地域経済の中心的な担い手）」として、地域未来牽引企業に認定されました。これからも時代を牽引する自動車開発を目指したものづくりで、愛知が世界に誇る自動車産業の更なる発展に貢献します。



地域未来牽引企業

#### 海外拠点の社会活動

インドネシア拠点のSRIでは、インドネシア スルヤチプタ工業団地内の日系企業で結成した「Mitra (ミトラ) の会」で、近隣の小学校へ赴いて5S\*について指導し、手作りの勉強机や書類棚を寄付する活動をしています。2019年にはカラワン県 (SRIが位置する都市) よりこの活動を評価され、「CSR Charter Award」に表彰していただきました。現在は活動を行う小学校を3校から4校に増やし、継続して精力的に活動しています。また、他の海外拠点においても、地元の消防署や病院などへの寄付を通じて、地域とのコミュニケーションを図っています。



CSR Charter Award 表彰状

\*5S・・・「整理・整頓・清掃・清潔・躰」の頭文字を取ったもの

## サカエ理研の購買方針

▶ 当社は持続可能な調達を目指し、下記の方針を軸にCSR調達を行っています。

### 資材調達方針

#### パートナーシップ

全てのお取引先様と良きパートナーシップを築き、相互協力し、信頼関係を大切にしていきます。長きに渡りビジネスパートナーであり続けることを望んでいます。

#### オープンソーシングと秘密保持

国内外問わず、オープンソーシングとし、自由な競争原理に則り調達活動をして参ります。また、調達活動を通じて取得した情報については、厳密に管理し、機密保持に努めて参ります。

#### CSRの実践

近年、企業の社会的責任(CSR)活動が注目を集めています。当社においても、CSR活動を実践し、安定した経営基盤を構築して参ります。お取引先の皆様におかれましても趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い致します。

#### お取引先様の選定について

お取引先様の選定については、品質・コスト・納期・経営状況・サプライチェーン管理体制・開発力等に加えて、お取引先が社会的責任を果たされているかについても評価し、総合的に判断して参ります。

#### グリーン購買

当社では、「サカエ理研工業 環境方針」に基づき、環境マネジメントシステムを構築し、内部監査の強化や従業員への環境教育、環境負荷の低減活動に取り組んでいます。お取引先の皆様におかれましても、ISO14001認証の取得を推奨しております。また、定期工程監査時には環境に関するチェック項目を設けるなど、お取引先の皆様にもグリーン購買へのご協力を求めています。

### 購買取引行動指針

#### はじめに

本指針は、当社のあらゆる購買活動を通じて、お取引先の皆様と接触するにあたり、当社の役員を含めた全社員が遵守すべき行動の指針である。

#### 基本事項

別に定める「サカエ理研 企業倫理遵守」に基づき行動するものとする。

- お取引先の皆様と良きパートナーシップを築くために、以下の点に留意する。
  - すべてのお取引先に公平に接し、特定のお取引先に有利になるような行動をしてはならない。
  - 下請法などの関連法令をよく理解し、正常な商習慣とは外れた行動をしてはならない。
  - お取引先から得た情報について、厳密に管理し、機密保持に努めなければならない。
- 国内外問わず、最適なお取引先を開拓し、競争の維持をするために、以下の点に留意する。
  - 新規に取引を希望する企業の申し入れに対しては誠実に対応し、進んで品目などの取引に関する情報を開示する。
  - 継続するお取引先においては、年1回定期的に評価を実施し、今後の購買戦略を策定する。
- お取引先の選定については、資材調達の基本方針を遵守した上で、以下の点に留意し、所定の手続きを適正に行うものとする。
  - 明らかに購入する意思のない見積要請は行わない。
  - 社内手続きにおいては、別に定める「購買管理規定」に基づき、実施される。
- 個人として、お取引先との取引においてリベートやコミッション、謝礼等は受け取りません。

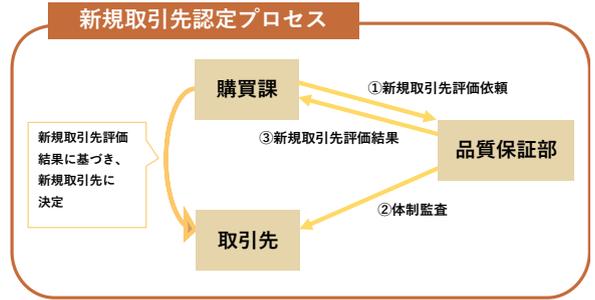
## サプライヤーとの関わり

▶ 製品品質の確保と、お客様からつながるサプライチェーンマネジメントのために、下記の購買取引行動指針に基づいてお取引先様と健全な取引関係の強化に努めています。

### サプライチェーンマネジメント

#### 取引先様への調査

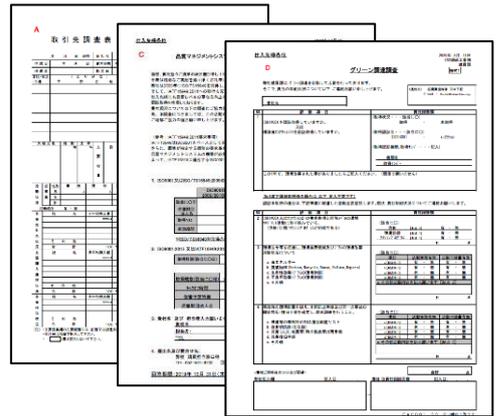
当社では、お取引先様に対して労働状況や経営状況、生産設備、仕入れ先、品質方針等について、書面での調査を行い、サプライチェーンが健全な形で展開されているかを評価しています。新規のお取引先様に関しては、品質保証部と連携し、監査を行ったうえで取引先として決定します。また、新規取引先様だけでなく、継続的に取引を行うお取引先様や、合併・買収・子会社化のあったお取引先様に対しても、毎年「取引先調査表」の提出を依頼しており、定期的に継続取引先の見直しを行っています。



また、グリーン調達を目指すために、お取引先様に対して「グリーン調達調査」を実施しており、サプライヤーの環境マネジメント活動の状況や環境改善活動の実施の有無、教育訓練及びリスクマネジメントが整っているかどうかを調査します。サカエ研グループにおける2020年度のお取引先様への監査は368社中62社（約17%）で実施しました。今後もお取引先様と協力しながら、サプライチェーン全体でのCSR活動に取り組みます。



お取引先様への実地監査の様子



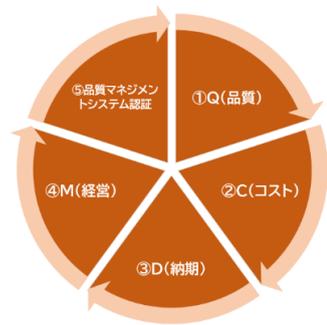
取引先調査表

#### 認定取引先

新規取引先の認定プロセスとして、右図の各評点の合計で新規発注可否の評価を行い、評価結果によって「認定取引先」としての登録が可能になります。

また、継続取引先の場合も、「取引先調査表」の結果を基に、右図の各評点の合計で継続認定評価を行い、評価結果によっては「改善計画書」の提出を要求し、指導を実施します。

また、認定取引先とは取引基本契約書及び「禁止物質（SOC）規制への対応に関するお願い」を締結し、必要に応じて「環境負荷物質の管理規定」に準じて調査依頼を行います。





# コンプライアンス

関連するSDGs



## サカエ理研のコンプライアンス方針

▶ 当社では、従業員に対し下記の「当社の企業活動に係る企業倫理の遵守について」を周知しています。会社が更なる企業成長を伸長させ、一般社会からも広く当社の企業認知を得るには、当社を構成するすべてが企業としての倫理観を普遍的な姿勢で厳守することが必要だと考え、従業員一人一人の意識改善を促しています。

### サカエ理研の企業倫理遵守について

#### 1 利益相反に関すること

個人的な利益と当社の利益が相反する状況やおそれがある場合は、それを看過することなく排除しなければなりません。もし、上記の状況が確認された場合は上司または管理者に迅速に開示しなければなりません。

#### 2 マネーロンダリングに関すること

脱税、粉飾決算、その他、種々の不正によって得られた報酬や出所不明の収入の資金洗浄(マネーロンダリング)は一切認めません。

#### 3 反競争的行為の防止

独占禁止法は「私的独占の禁止」「不当な取引制限の禁止」「不公正な取引方法の禁止」は自由で公正な競争を通じて、市場経済の発展を図ることを目的とした、企業活動の基本的なルールであり、それを遵守した企業活動の徹底に努めます。

#### 4 贈収賄・腐敗行為の防止について

贈収賄・腐敗行為等については正当な商取引を阻害し、当社の健全な企業活動に致命的な打撃を与えかねない大きなリスクとなることから、贈収賄・腐敗行為等に対しては「如何なる違反も許さない姿勢」で臨みます。

#### 5 上記に係る違反行為に対する措置について

上記に係る違反行為については、当事者は当社就業規則に従った処分の対象となることは勿論のこと、それが刑事法上に抵触する行為であれば司法機関に健全な企業として全面的な協力を惜しまない姿勢で臨みます。

#### 6 社会との関係について

##### ① 地域社会への貢献

社会の健全な発展の担い手として、社会貢献活動に積極的に参加し、また、これらの活動を支援します。

- ② 反社会的勢力との対決について  
社員は、反社会勢力からの取引や金銭などの要求には毅然として対応し、一切関係を持つてはいけません。
- ③ 公正透明な政治参加  
政治献金や各種団体への寄付などを行う場合は、公職選挙法や政治資金規制法等を遵守し、誤解を招くような行動を一切してはいけません。

## 7 従業員との関係について

- ① 人権の尊重  
雇用や処遇にあたっては、従業員等の人権を尊重するとともに、人権、信条、性別、宗教、国籍、年齢、学歴、その他個人的な特性に基づいた差別は、いかなる場合であっても、認めません。
- ② セクシャル・ハラスメント等の禁止  
性的な嫌がらせや地位や立場を利用した嫌がらせ、威圧、また、それらと誤解されるおそれのある行為は一切禁止します。
- ③ プライバシーの保護  
従業員等の個人情報、適正に管理し、本来の目的以外に使用してはいけません。  
また、裁判所の命令等の正当な理由がない限り、本人の承諾なく、これを外部に開示することを禁止します。
- ④ 労働関係法令の遵守  
労働関係法令を遵守し、勤務時間等の労働条件について、適正な管理を行わなければなりません。
- ⑤ 職場の安全衛生について  
職場の整理整頓に努め、快適な職場環境を保持しなければなりません。  
また、就業規則や安全衛生環境管理規定における安全衛生の各条項を遵守し、従業員の健康増進に努めなければなりません。

## 8 守秘義務と相談者等の保護について

ハラスメントの撲滅に係る相談窓口についてはすでに相談窓口が指名されているところでありますが、この企業倫理の遵守に係る相談窓口についてはその重要性を鑑みて当社総務部長を新たに指名します。

従って、総務部長は相談者等に対する秘密保持義務を負っているものであり、相談者等が不利益を被らないような配慮をする役割でもあります。また、その内容に応じて自ら必要な調査を行うことも命じています。

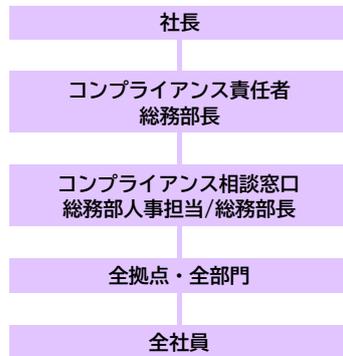
前段にも記しましたが、自分の周囲に問題があることが分かったら、それを放置しないという姿勢が当社の成長を促すものであることを重ねてご理解をいただきたく、社長の重要な指示とします。

2020年12月20日

(「当社の企業活動に係る企業倫理の遵守について(2020.12改訂)より)

## コンプライアンス相談窓口

コンプライアンス方針に記載のとおり、コンプライアンス相談窓口には総務部人事担当が、特に重要な相談や海外拠点からの相談窓口については総務部長が配置されており、コンプライアンスに関する情報提供や、相談・通報を常時受け付けています。



## コンプライアンス教育

当社では、「企業倫理の遵守について」の周知による啓発に加え、通信教育でのコンプライアンス教育を実施し、従業員の意識を高めています。2020年度は「違反事例で学ぶコンプライアンス入門」を3名受講しました。今後も多くの社員がコンプライアンスに関する意識が高められるよう、積極的なコンプライアンス教育を推進していきます。

## 海外拠点のコンプライアンス対策

国や地域によって行動規範や倫理観は異なりますが、当社の海外拠点でも、それぞれの国の法律に準拠し、現地の慣習に倣った健全な企業活動に努めています。海外拠点のコンプライアンス対策の一部をご紹介します。

拠点	関連規定	内容及び取り組み
SRW	社会責任管理規定	汚職・賄賂や利益の独占、不公平な競争等を行わず、真面目で潔白な経営に専念することや、虚偽の情報に反対し、機密保持をすることなどの情報セキュリティの保持に関する分野などのコンプライアンス方針を定めています。
	沟通交流和協商参与管理規定	労使関係における対等なコミュニケーションを取るための取り決めに記載しています。また、コンプライアンスに関する内部告発手順も記載し、健全な企業運営を推進しています。
	IT情報システム管理要領	個人情報や機密情報などの取り扱い・管理方法、セキュリティ侵害防止のための日頃のリスク評価について定めています。
	その他	年に2回の会計事務所監査を実施しています。
EAKAS	EAKAS Corp Handbook	「当社の企業活動に係る企業倫理の遵守について」と同内容のコンプライアンス方針を定め、周知しています。また、コンプライアンスに関する内部告発手順も記載し、従業員に啓発しています。
SRI	Kebijakan Penggunaan Teknologi Informasi dan Komunikasi (情報通信技術の利用に関する方針)	第三者の情報セキュリティに関する侵害防止対策・制限等のルールを制定し、セキュリティ強化体制を図っています。

## 情報セキュリティ

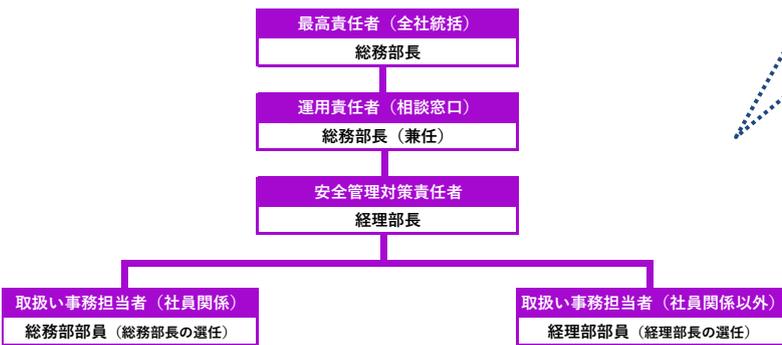
▶ 当社の企業機密事項、顧客・取引先・従業員など関わりのある全てのステークホルダーの情報について、個人情報保護法に基づいた「企業機密管理規定」のもと、セキュリティ体制を整えています。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策で始めたテレワークの導入により、今まで以上に情報セキュリティを強化しています。

### —— 特定個人情報等の取り扱いについての基本方針 ——

当社では、個人番号を含めた関連情報は、如何なる場合であったとしても漏えいしてはならないものと捉えており、厳重なる管理のもとで取扱わなければならないと考える。そのため、具体的なルールは別途「特定個人情報取り扱い規定」を定め、総務部長を最高責任者とした責任体制を明確にして運用し、社員には日常的に教育の機会を提供して運用ルールや情報漏えい対策等の周知徹底を図っていくものとする。  
(就業規則から抜粋)

### 個人情報取り扱い責任体制

特定個人情報取り扱いについての組織体制



特定個人情報等の取り扱いに関する最高責任者は、運用責任者及び安全管理責任者を監督し、特定個人情報等の取り扱いなどについて管理監督します。また、運用責任者は社員への教育や啓蒙、更には安定的な継続運用のために企画を実施し、管理等を行う役割を担っています。安全管理対策責任者は、システム及び物理的な対策を講じて情報が漏えいすることがないように体制を整える役割を担っています。

### サイバーセキュリティ

当社が扱う特定個人情報等に関しては、関係法令の遵守をはじめ、その情報が漏えいすることがないように、右図のように組織的・技術的・物理的・人的な観点で安全管理措置を講じることを就業規則で定めています。  
また、総務部に機密情報ならびに機器に関する事故対応フローを規定し、情報漏えいや情報機器の障害等の事故が発生した際に被害を最小限に抑えるための対応フローを定めています。情報システム上の管理だけでなく、外来者の出入りの管理及び施設見学の条件などについても規定を定め、万全な情報保護体制に努めています。

安全管理措置	組織的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務取扱いにおける責任体制を明確化するために「特定個人情報取り扱い規定」を制定</li> <li>・情報漏えい等の事案発生時には、昼夜を問わず直接総務部長または安全管理対策責任者の携帯電話へ連絡することができるように運用責任者の携帯電話番号を公開</li> <li>・不定期による情報漏えい事故対策訓練を実施</li> </ul>
	人的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定個人情報等の取り扱いに関する留意事項等について、社員に対して定期的な研修を実施</li> <li>・特定個人情報等についての秘密保持については、就業規則においても明確化し、そのルールを周知</li> <li>・事務取扱い担当者は誓約書を提出</li> </ul>
安全管理措置	物理的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定個人情報が含まれた書類は、必ず施錠できるキャビネットに格納して管理</li> </ul>
安全管理措置	技術的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムへのアクセスは、アクセスすることができる担当者を限定し、そのアクセス状況を記録</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムへのアクセスは、アクセスすることができる担当者を限定し、そのアクセス状況を記録。パスワードの使いまわしはしない</li> <li>・情報システムと外部ネットワークとの接続箇所にファイアーウォールを設置し、不正アクセスを遮断</li> </ul>

## リスクマネジメント

企業は、いつ何時非常事態に直面しても早期に事業復旧し、製品を安定的に供給できる体制を整えておく必要があります。サカエ工研では、大規模災害やセキュリティ侵害、感染症等に対しBCP計画を策定し、万が一に備えています。

### 火災

火災発生防止対策としては、着火源となり得るものや可燃物の保有リストを作成し、取扱い方法を明確に定めたくて管理しています。また、火災報知機や消火器などの消防設備の定期的な点検・更新を行い、迅速に初期消火を実施できるよう整備しています。可燃物の保管環境や設備に不具合が確認された場合にも、速やかに設備の改善・更新を行い、未然防止の体制を整えています。火災が発生した場合には、連絡・処置手順をマニュアル化し、定期的に訓練を行うことで、従業員へ浸透させています。

#### 主な取り組み内容

- ・年一回の消火訓練で消火設備の使用方法を教育
- ・工場での火気使用の際は火気使用許可申請を行い、火気の使用情報を関係者に伝達  
(⇒火気監視や適正な火気取扱いの対策が確認できた上で、責任者の承認を以て火気使用を許可)
- ・毎日の工程パトロール、安全衛生委員会による安全パトロールで、リスクの洗い出しを実施



救助訓練



消火訓練

### 自然災害

サカエ工研本社及び技術センターと3工場が位置する愛知県は、「南海トラフ地震」で特に大きな被害を受けると予測される地域です。ハザードマップを確認し、建物の耐震強度の確保や、落下や倒壊の危険性があるものに関しては落下・倒壊防止対策を行っています。また、緊急連絡網を作成し、従業員の安否確認を迅速に行えるようにしています。その他、定期的な電気設備の点検と訓練を実施し、停電時の復旧手順も整備しています。加えて、東海豪雨の経験もふまえ、集中豪雨や台風が発生した場合の洪水・土砂災害リスクを把握し、土砂の流入や浸水防止対策、危険物の流出を防ぐ処置を取っています。

### 情報セキュリティ

当社および当社と関わりのある方々の技術や機密情報は大切な情報資産であり、不正アクセスや情報漏えいから確実に守らなければなりません。当社では社内規則により、情報の守秘義務や関連機器の管理・運用方法を明確にしています。従業員へは機器の利用ルールの周知及び迷惑メール等に関する注意喚起を実施し、パソコンやサーバーへのウイルス対策ソフトを導入しています。また、システム管理者は、システム障害等の兆候をいち早く見つけるため、死活監視リソース<sup>※</sup>を監視し、情報漏えいの防止・社内ネットワークの保全を図っています。定期的な訓練により、停電やその他情報セキュリティ事故が発生した場合の抑制処置及び復旧処置、再発防止対策についても手順を定め、整備しています。また、今年度より開始したリモートワークの導入により、社外でのPC利用時の取り扱いや注意事項を新たに策定し、安全に情報資産を利用できるよう周知しています。

#### 主な取り組み内容

- ・システムが停止しても生産活動を継続させるため、生産設備とネットワークシステムを分離(連動させない)
- ・ユーザーIDとシステム管理者の権限を分離し、システム毎に管理者を決定
- ・サーバー室及び事務所は物理鍵で施錠し、各所に監視カメラや人感センサーを設置
- ・取引先及び外注サプライヤーとは基本取引契約書にて機密保持及び規律の遵守を明確化。先行技術開発の提携先等一部の取引先については個別に機密保持契約書を締結
- ・社内各部門への注意喚起メール、入社時の教育

<sup>※</sup>死活監視リソース…正常に動作しているかどうかを継続的にチェックする(死活監視)対象となるCPUやメモリ、保存容量、ネットワーク帯域等

## 感染症

新型コロナウイルス感染症対策としては、出入口に消毒液と検温器  
しこまめな手指消毒の呼びかけはもちろん、オフィスや会議室、食  
堂にパーテーションを設置し、3密を避けるよう呼びかけるポスタ  
ーの掲示やサテライトオフィスの整備などで、徹底した感染対策を  
行っています。また、従業員が感染もしくは濃厚接触者と認定され  
た場合、またはその疑いがある場合などについて、詳細なガイドラ  
インを策定し、周知徹底しています。加えて、新たに在宅勤務規定  
を定め、リモートワークの積極的な導入・時差出勤を奨励し、新し  
い働き方を実践しています。



本社入口



本社:〒452-8501

愛知県清須市西枇杷島町宮前1の48

TEL:052-501-8231 FAX:052-503-0125

サカ工理研HP (<https://www.sakaeriken.co.jp/>)